

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

能ヶ谷西緑地だより

2026年4月1日号 241号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【4月の予定】

◆4月11日（土）（雨天翌日）

・花広場整備 ・お花見

◆4月25日（土）（雨天翌日）

・花広場整備 ・お花見

* 9:00 現地集合（9:00～11:30）

◆4月4日（土） 10:00～12:00

・やままゆ連・手作りカフェー

平和台集会所

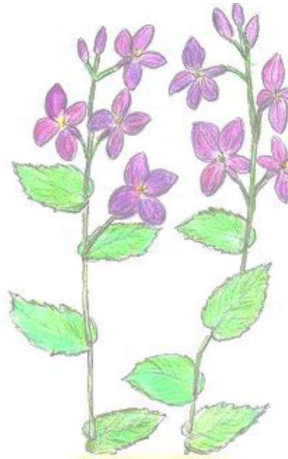
問合せ：伊藤（735-8623）

どなたでも参加自由です。

作業には汚れても良い服装でおいでください。



【緑地に咲く】ハナダイコン（花大根）



アブラナ科の越年草で、薄紫色の花を咲かせます。別名ショカツサイ。三国志の諸葛孔明が陣地で食料として栽培したという伝説から名づけられました。春に花を咲かせ、食用（お浸し等）や観賞用として親しまれており、繁殖力が強いのが特徴です。（長谷部）

※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※

3月14日（土） 晴 参加者7名

緑地作業は緑地内通路の整備でした。その前に、お花畑広場の「お花見」をしました。クリスマスローズ、ゆきやなぎ、スモモ、桜など沢山咲いていました。

このところ参加者が少なくなっているの、会員を増やすことについて話し合いました。緑地入口の案内、キャッチフレーズを考える、特に最近引っ越ししてきた若い人などを対象にしたチラシを作るなど具体的に動くことにしました。

ジャガイモの植え付けをする予定でしたが、種芋が手に入らず残念！（設楽）



モミジイチゴ



前の日の雨で、芽吹いてきた樹木も生き生きと見えます。緑地もすっかり春めいてきました。桜広場の染井吉野はもう五分咲き。白い花が可憐な大島桜やスモモの花。艶やかな大輪の椿も目に鮮やかです。

この日の作業は、花広場から桜広場に向かう通路の「ななこ垣」という竹垣の整備です。細く切った竹を弓なりに曲げ、ひもで結んでつなげていきました。あとは、緑地に上がってくる通路にスコップで段差をつけ、滑らないよう整備しました。

作業の後みんなで、この時期楽しみにしている春蘭を探しに行きました。樹木の茂った西斜面の薄暗いところに目を凝らすと、今年は群生して出ています。淡い緑と薄紅色の小さな花がすくっと首をもたげているような姿は美しく、作業の疲れも吹っ飛びました。お茶を飲みながら、作業メンバーを増やす作戦を考えつつ、解散となりました。（上野）

ナナコ垣（魚子垣）：名前の由来は、江戸切子の魚子紋に似ているから。

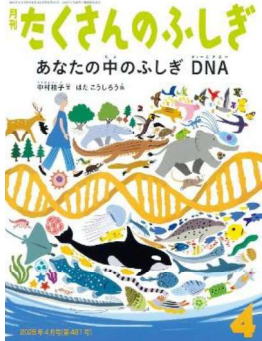


【緑地を楽しむ本】

『あなたの中のふしぎ DNA』 たくさんのふしぎ 2025年4月号

中村桂子 文、はたこうしろう 絵

福音館書店



人間は動物の1種なので、「人間は動物の仲間だ」と言われれば、「はい、了解です」と即答できます。では、「人間と昆虫は仲間だ」と言われたら？ ちょっと抵抗がありますね。でも、仲間なんです。それどころか、たんぽぽも桃もバクテリアも仲間なんです。なぜ、そう言えるかというと、どれもが細胞

を持っているからです。そして、どの生き物も食べ物として取り入れた糖分からエネルギーを取り出すための同じ酵素を持っています。

細胞の中にはDNAがあり、それが分かれて新しいDNAをつくることで元の性質が新しい細胞に伝わります。遺伝といいます。その他、DNAはたんぱく質を作る情報を伝えたり、成長と進化にも携わっています。これが40億年も続いてきたというから驚きです。

細胞についての認識は近年とても進んでいて、高校の生物の教科書の内容もずいぶん変わりました。この本では新しい知見を分かりやすく伝えているとともに、「あなたはこの世で唯一無二の存在ですよ」と繰り返し述べているのが、印象的でした。

(齋藤好子)

春、らんまん



ナバナ



タチツボスミレ

【やまゆ連・手作りカフェ】

インディアンクロス作り
3月7日(土) 10:00~12:00
平和台集会所

随分春めてきた平和台集会所にて今回はインディアンクロス(ゴッドアイとも言います)を作りました

先日開催された町カフェの体験コーナーで教えて貰い、皆で挑戦することにしました。

インディアンクロスとはネイティブアメリカンに伝わる「神の目」という意味を持つ伝統的な御守りです。

作り方は好みの長さで木の枝2本を用意しクロスして中心を固定します

クロスした根元から毛糸を巻き付け、次の枝に渡しそこで又ひと巻きしては次の枝に渡すを繰り返して四角の平面を作っていきます。

ポイントは糸の色の組み合わせ方です。両サイドの枝先にビーズやトンボ玉で飾りを付けたりして部屋のインテリアやクリスマスツリーのオーナメントにも使えます

1本だけで飾るより、複数で吊り下げの方がより素敵だと思います。

庭先やお散歩の途中で小枝を探し、家にある残り毛糸で色の組み合わせを楽しめる、とてもエコな手芸ですよ。

カフェメニュー：甘酒

(藤井)



【緑地の樹】

クサイチゴ

プロフィール：バラ科キイチゴ属(落葉小低木)

今、中央広場のはらっぱが白く染まっています。クサイチゴの花が咲いているのです。5枚の白い花びら、真ん中がこんもり盛り上がって、いかにも苺の仲間とわかる花です。こんなにいっぱい咲いたら、どれだけ実がなることでしょうか。5月頃になると真っ赤な丸い実がなります。ぜひ、一粒味わってみてください。甘くて、おいしいですよ~

ところで、この欄は樹の紹介コーナーなのに、なぜ草が出てくるの?と思いませんか。クサイチゴは名前も草だし、見た目も地面に這いつくばっているようで草に見えますが、なんと、木なのだそうです。低く這っている上に落葉なので、冬は無くなっているように見えるのです。

でもこんなに低いので、動物にすぐ狙われてしまいます。緑地のクサイチゴも、気がつ

くと、もうなくなっています。タヌキか、ネズミか・・・

(小川)

